

## 委員会開催概要

回数		検討・確認内容	今後の課題
<p style="text-align: center;">第7回</p> <p style="text-align: center;">H19.3.19</p> <p>神奈川労働 プラザ</p>	<p style="text-align: center;">検討委員会報 告書(案)につい て</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「単体手法の評価」を整理して、侵食のレベルによって適する場所適さない場所など場所ごとの適応表や模式図のようなものを追加すること</li> <li>・報告書の組み立てについて、一般論と施工試験の結果が混在しているので、工夫をすること</li> <li>・目標のゴール、達成目標など、基本構想で用いた言葉は、使い方・内容を整合させること</li> <li>・今後マニュアルを作成する予定であることを記載したほうがよい。(今回十分議論できなかった部分、特に3章を再度検討するため)</li> <li>・今後の課題として現地の土壌侵食の位置情報を詳細に調査する必要がある。</li> <li>・流域カルテは、電子化することを前提にフォーマット等を検討したほうがよい。</li> </ul>	